

(別紙様式4)

平成28年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール  
推進事業実施報告書

協議会名	篠山中学校地域運営協議会	会長名	熊谷 満
研究内容及び 研究成果	<p>&lt;研究内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 地域運営協議会における意見交流を通して、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を意識した上で、連携、協力して生徒の健全育成を図る。</li><li>2 生徒が地域の体育的行事、文化的行事や伝統行事、ボランティア活動等に積極的に参加することにより、公共の精神や地域への愛着や誇りを育む。</li><li>3 地域とPTA地区役員との連携を積極的に図る。</li><li>4 地域運営協議会が中心となり、学校の環境美化に努める。</li><li>5 学校・家庭・地域が連携し、“あいさつ運動”の益々の充実を図る。</li><li>6 地域の専門的な知識、技能のある方の学校教育への活用を図る。</li><li>7 学校だよりやホームページ等を活用し、地域への情報発信を積極的に行う。</li></ol> <p>&lt;研究成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・授業参観や学校行事（体育祭、文化祭等）を通じて、生徒の実態を見ていただくことにより、学校に対する理解が深まり、よりよい学校づくりに向けての意識の高揚が図れた。</li><li>・地域行事等への中学生の参加を通して、地域の方々と交流を深めることができた。そのことにより、中学生に地域の一員としての自覚を醸成できたのではと考える。</li><li>・「PTAあいさつ運動」を通じ、我が子だけでなく他の生徒の実態をみてもらう、よい機会となった。また、会員同士の交流の場ともなった。</li><li>・広い敷地なので、環境美化活動を数回にわたって実施していただき、よき環境の中で学校生活を過ごすことができた。</li><li>・インターアクト部の活動が、評価されている。</li></ul>		
今後の研究課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域、学校が共に、それぞれ生徒の学校での生活の様子、地域での生活の様子を共有できる仕組みが必要と思われる。</li><li>・中学校は校区が広くなり、それに伴い地域の実態がそれぞれ違い、同じ目線で一斉に活動していくことの困難さがある。</li></ul>		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校便り等に活動の様子を掲載</li><li>・ホームページに「成果と課題」を掲載</li></ul>		